

Course Directors

相田 伸二  
京都大学医学部附属病院

稲田 毅  
岐阜ハートセンター

大石 景子  
国立病院院長崎医療センター

小早川 香樹  
滋賀県立成人病センター

小味 昌憲  
熊本大学医学部附属病院

添田 信之  
星総合病院

辻井 正人  
三重ハートセンター

中山 美恵子  
桜橋渡辺病院

鯉井 秀之  
大手前病院

平田 和也  
北海道社会保険病院

藤田 光広  
川崎社会保険病院

三上 剛人  
学校法人吉田学園

守屋 元  
大和成和病院

柳沼 昇  
心臓血管センター北海道大野病院

Japanese Faculty

青野 拓也  
済生会西条病院

赤松 俊二  
洛和会丸太町病院

浅井 優子  
名古屋ハートセンター

阿部 洋子  
心臓血管センター北海道大野病院

粟井 一夫  
独立行政法人国立病院機構福井病院

石川 芳枝  
星総合病院

井田 義宏  
藤田保健衛生大学病院

出光 康造  
済生会中津病院

井上 裕之  
京都医療センター

大瀬 俊一  
大阪市立大学医学部付属病院

太田 悦雄  
京都大学医学部附属病院

岡田 忠久  
京都桂病院

奥田 正穂  
市立札幌病院

鍵谷 文彦  
東京医科大学八王子医療センター

加藤 佳子  
名古屋ハートセンター

加藤 祐子  
大和成和病院

加納 寛也  
神戸大学病院

河合 政和  
KKR 大手前病院

川合 正人  
名古屋ハートセンター

菊地 康昭  
星総合病院

木下 博子  
岸和田徳洲会病院

木下 昌樹  
岡崎市民病院

京谷 勉輔  
三菱神戸病院

清本 昌義  
大阪警察病院

國井 由花  
会津中央病院

黒光 弘幸  
京都府立医科大学付属病院

木暮 陽介  
順天堂大学医学部附属練馬病院

小西 治美  
国立循環器病センター

小松 良司  
仙台湾洲会病院

佐久間 浩樹  
星総合病院

桜山 千恵子  
社会保険中央総合病院

佐藤 久弥  
昭和大学横浜市北部病院

佐野 始也  
高瀬クリニック

穴戸 尚美  
草津ハートセンター

篠原 智誉  
三菱京都病院

島袋 朋子  
湘南鎌倉総合病院

清水 速人  
高敷中央病院

白神 妙子  
兵庫医科大学

高垣 勝  
滋賀県立成人病センター

高橋 秀一  
天理よろづ相談所病院

竹内 正人  
島原病院

竹本 和司  
和歌山県立医科大学附属病院

田島 修  
埼玉県立循環器・呼吸器病センター

龍野 和恵  
京都大学医学部附属病院

鶴岡 尚志  
国家公務員共済会連合会三宿病院

International Faculty

Jeong Min Lee  
Chungju St. Mary's Hospital

Seung Cheol Park  
Gang Neung Asan Hospital

CCT2009  
Co-medical

Dates 2009年 1月29日(木) ⇒ 31日(土)

Venue 神戸国際展示場

## Course Objectives

近年カテーテルインターベンションは、冠動脈疾患のみならず末梢血管、不整脈と様々な方向に著しく進歩してきました。それに伴い、コメディカルも様々な分野に向けて進歩し続けております。しかしさらなる進歩を目指すには、チーム医療の構築が必須であると考えます。そのためには基礎の再確認および新しいことへの挑戦は欠くことができません。今回のCCT2009では、コメディカルのメインテーマを「チーム医療の構築」とし、基礎から応用まで幅広く学べる場所を提供したいと思えます。様々な分野の方々にご参加いただき、各々の施設に持ち帰って明日からの臨床に役立つような会を開催できるよう、精鋭努力し準備しておりますので、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

堂領 和彦  
順天堂大学医学部附属順天堂医院

富田 紀雄  
仙台厚生病院

永井 美枝子  
済生会横浜市東部病院

永濱 美奈子  
滋賀県立成人病センター

中原 誠  
兵庫県立西宮病院

中村 敦  
大阪市立大学医学部附属病院

中村 康雄  
社団法人有隣厚生会 富士病院

納口 英次  
心臓血管研究所附属病院

野崎 暢仁  
康生会武田病院

野芝 志乃  
豊橋ハートセンター

濱田 有子  
野崎徳州会病院

原 奈緒  
小倉記念病院

疋田 健  
洛和会丸太町病院

藤沢 康雄  
大阪警察病院

細田 英司  
医療法人 川崎病院

増本 朋美  
倉敷中央病院

水戸 武史  
箕面市立病院

迎山 加奈  
桜橋渡辺病院

村上 和男  
草津ハートセンター

保田 彰  
仙台厚生病院

山口 隆義  
北海道社会保険病院

山口 敏和  
名古屋ハートセンター

山本 太  
京都第二赤十字病院

山本 晃市  
京都大学医学部附属病院

吉田 秀人  
天理よろづ相談所病院

善積 透  
医療法人川崎病院


(50音順)  
(2009年1月15日現在)

Program at a glance

Thursday, January 29

Friday, January 30

Saturday, January 31

	神戸国際展示場		神戸国際展示場		神戸国際展示場	
	2号館 3F, Room 4	1号館 2F, Room 5	2号館 3F, Room 4	1号館 2F, Room 5	2号館 3F, Room 4	1号館 2F, Room 5
8:00						
9:00	ペースメーカーの基本的機能	放射線技師領域における基礎知識	心臓超音波検査(UCG)のコツとビットホール	シナリオと動画で学ぶ!カテ中の急変対応		心臓血管外科ビデオレクチャー1
10:00	ペースメーカーの基本作動					心臓血管外科ビデオレクチャー2 -OPCAB, AVR, 胸腹部瘤-
11:00	ペースメーカー植込み立会い、クリニックの実際	Coronary CTの所見と解析方法について	動脈硬化症検査のコツとビットホール	カテ中の患者に対する看護技術の提供 -看護独自で解決する方法-		埋込み型人工心臓開発の歴史と現状 -海外での動向も含めて-
12:00		LS 共催: (株)グッドマンヘルスケア ITソリューションズ		LS 共催: ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)		LS 共催: (株)グッドマン
13:00						
14:00	末梢動脈における診断と治療	PCIに必要な基礎知識1	こんなときどうすればいいの?術中の合併症とその対応	術中看護記録の現状とこれからは?		招聘講演(韓国) 
15:00			知っておきたい心臓麻酔-薬剤の知識-		エコーハンズオン: 循環器超音波検査の達人にします!	LIVE コメディカル ライブデモンストレーション
16:00		PCIに必要な基礎知識2	循環器疾患における心エコー検査の役割	患者指導の現状・インフォームドコンセント		
17:00	Coronary CT	PCIに必要な基礎知識3	ビデオセッション: 心臓血管外科オペネースの取組み			
18:00			FS 共催: (株)島津製作所			
19:00						
20:00						

FS Fireside Session LS Luncheon Seminar

## Thursday, January 29

## Room 4

## 9:00-10:00 ペースメーカーの基本的機能

ペースメーカー植込み、クリニックはすでに院内スタッフで行っていることと思います。そこで、ちょっと初心にもどって不応期、ブランキング等の基礎をしっかりと復習してみましょう。また基礎なのでこれから始めようという人にも役立ちます。

座長

清水 速人

演者

横溝 克巳（日本メドトロニック（株））

## 10:10-11:00 ペースメーカーの基本作動

ペースメーカー植込み、クリニック時などに必要な一般的な基本作動・心電図をしっかりと復習してみましょう。基本的機能と同様にこれから始めようという人にも役立ちます。

座長

木下 昌樹

演者

辻井 正人

## 11:10-12:10 ペースメーカー植込み立会い、クリニックの実際

ペースメーカー植込み、クリニックは実際にどのようにすればいいのか、気をつけるポイントは何？などベテランが実践、経験をもとに初心者に役立つ講演をしていただきます。初心者でない方も他の施設の方法を見ることで新たな発見をすることもかもしれません。

座長

高垣 勝

演者

太田 悦雄

## 13:45-15:15 末梢動脈における診断と治療

TASC IIの改訂に伴い、末梢動脈疾患患者への診断・治療がさらに増加している。現在、各種画像診断は血管内治療において、広く用いられておりその技術的進歩もめざましく、診断ツールとしての役割から、治療ツールへと変化しつつある。今回、血管形成術とCT画像、血管超音波を用いた診断・治療におけるセッションを行いたいと思います。

座長

善積 透

下肢動脈の画像検査

細田 英司

末梢動脈疾患における画像診断と治療

福永 匡史（医療法人川崎病院）

## 15:45-18:00 Coronary CT

冠動脈CT検査を行う施設は急速に増えており、その検査数も増加の一途であります。そこで今回、「冠動脈CT検査アドバンス」と題して、64列CTを用いた冠動脈検査の最適化（標準化）を考える上で必要となる内容を中心に、各分野でのスペシャリストの皆様に、わかり易く解説して頂きます。また、最新の320列CTによる心臓検査についても紹介して頂きます。

座長

木暮 陽介、中村 敦

心電図から考える撮影条件設定

佐野 始也

撮影条件の最適化を考える

堂領 和彦

Snap Shot Pulseの適応を考える

山口 隆義

緊急冠動脈CTA検査の役割

濱田 有子

320列で冠動脈CTはどう変わる

井田 義宏

## Room 5

## 9:00-11:00 放射線技師領域における基礎知識

循環器領域において放射線技師の役割は多様化しているのが現状であります。昨年に引き続き基礎講演を行いたいと思います。解剖、IVUS、心臓MRI、心臓CTの基礎知識について分かりやすく専門の先生に講演して頂きます。

座長

清本 昌義、小味 昌憲

CAGとCTの解剖について

水戸 武史

IVUSの基礎知識について

田島 修

心臓MRIの基礎知識について

京谷 勉輔

心臓CTの基礎知識について

山口 隆義

## 11:15-12:15 Coronary CTの所見と解析方法について

心臓CTは普及してきましたが、施設によって解析方法や所見の付け方が異なります。今回循環器の先生に実際のワークステーションを用いて講演して頂こうと思います。

座長

鯨井 秀之、藤沢 康雄

Coronary CTの所見と解析方法について

佐藤 芙美（KKR大手前病院）

## Luncheon Seminar

### 12:30-13:30 動画ネットワークの現状 ～循環器部門システムに求められるもの

座長

一ノ瀬 良二（社会保険小倉記念病院）、添田 信之

演者

永田 敬章（公立陶生病院）、椎原 大介（東京警察病院）  
奥田 保男（岡崎市民病院）

共催：（株）グッドマンヘルスケアITソリューションズ

### 13:45-17:50 PCIに必要な基礎知識

カテーテルインターベンションの技術、道具の進歩に伴い円熟期を迎えていると思われます。さて、我々コメディカルはどのようにして環境、チームを作れば良いのでしょうか。それを完成させるには様々な基礎知識が必要に成ります。基本に戻って、もう一度基礎知識を見直していただければと考えます。

#### 13:45 PCIに必要な基礎知識 1

座長

藤田 光広

冠動脈の解剖とCAGの読み方

小松 良司

心電図の基礎（虚血）

疋田 健

心電図の基礎（不整脈）

辻井 正人

#### 15:10 PCIに必要な基礎知識 2

座長

平田 和也

PCI時の血行動態の把握

赤松 俊二

IABP

木下 昌樹

PCPS

山口 敏和

#### 16:35 PCIに必要な基礎知識 3

座長

添田 信之

エコー検査の基礎

納口 英次

被爆管理

粟井 一夫

CTAの基礎

村上 和男

## Room 6

### 14:00-18:00 Imaging for PCI Club Medical/Co-medical session Co-medical Welcome!

#### 14:00-14:05 Opening remarks

角辻 暁

#### 14:05-14:45 座長

角辻 暁、本江 純子

コメンテーター

Marc Vorpahl、山本 義人、及川 裕二

How to use IVUS for optimal stenting

本江 純子

#### 14:45-15:25 座長

角辻 暁、小谷 順一

コメンテーター

Seung-Jea Tahk、浦澤 一史、岡田 隆

Image interpretation for complex PCI

小谷 順一

#### 15:25-16:05 座長

角辻 暁、野崎 洋一

コメンテーター

Robaayah Zambahari、

森野 禎浩（東海大学医学部附属病院）、池野 文昭

How to use IVUS in complex situation

野崎 洋一

#### 16:05-16:55 座長

角辻 暁、本江 純子

コメンテーター

Kui-Hian Sim、野崎 洋一、田辺 健吾

How apply CT tissue information to PCI

角辻 暁

4D sliding Slab MIP

片平 和博（熊本中央病院）

#### 16:55-17:55 座長

角辻 暁、野崎 洋一、小谷 順一

コメンテーター

矢嶋 純二、小山 豊、園田 信成（産業医科大学病院）

Case-1: IVUS for bailout-stenting of LMT dissection

浅野 博（公立陶生病院）

Case-2: IVUS guided bail-out strategy for LAD dissection

田山 信至（済生会熊本病院）

Case-3: Potential of OCT for DES-ISR

武田 義弘（大阪医科大学）

#### 17:55-18:00 Closing remarks

角辻 暁

Friday, January 30

Room 4

## 9:00-10:30 心臓超音波検査 (UCG) のコツとピットホール

心臓疾患の診断において心臓超音波法 (UCG) は非侵襲的に心臓の動きや血液の流れを肉眼的な動きとして捉えることができ、心臓機能 (収縮性、拡張能) と血行動態を評価するに適した方法であり、循環器領域においては欠かせない検査の一つであります。心臓カテーテル検査で左室心機能はLVGを行って評価を行うが、造影剤による患者に対する負担が大きいため、LVGの代役としてUCGが用いられる事が多いようです。弁膜症においてもUCGによる評価は高く弁置換手術の決定と術後のfollow upには欠かせない検査の一つになっております。UCGの基本的な走査方法と弁膜症、虚血性心疾患の見かた、評価方法についてのコツとピットホールについて詳しく、分かりやすく講義をして頂きます。

座長

鍵谷 文彦

UCGの基本走査方法

藤田 光広

UCGの弁膜症

永井 美枝子

UCGの虚血性疾患

桜山 千恵子

## 10:30-12:00 動脈硬化症検査のコツとピットホール

動脈硬化症は動脈血管にコレステロールや中性脂肪などの脂質成分が血管に沈着し硬化、狭窄を起こし血流障害による様々な症状を起す事をいいます。我国の死因の3分の1を占める心疾患 (狭心症、心筋梗塞など) や脳血管疾患 (脳梗塞、脳出血など) の原因となるのは、この動脈硬化症です。動脈硬化症の検査は色々と考えられていますが、今回の講義ではPWV・ABIとFMD、SPPの検査におけるコツとピットホールについて詳しく、解説をしてもらいます。

座長

藤田 光広

脈波伝播速度 (PWV) ・ 足関節上腕血圧比 (ABI)

鶴岡 尚志

血流依存性血管拡張反応 (FMD)

青野 拓也

皮膚灌流圧 (SPP)

永井 美枝子

13:30-14:45 こんなときどうすればいいの？  
術中の合併症とその対応

カテーテルインターベンションにおいて合併症は避けられない物があります。いざ起こってしまったら、どのような対応が必要か？我々コメディカルがどの順番で何をすればいいか？などこの道のエキスパートに話していただきます。是非参考にさせていただければと思います。

座長

山口 敏和

合併症発生時のコメディカルの役割

—迅速に対応するためには—

富田 紀雄

PCIにおける合併症 —合併症の種類、対応—

稲田 毅

蘇生処置の実際 —BLS、ACLSの再確認—

三上 剛人

## 15:00-16:00 知っておきたい心臓麻酔 (薬剤の知識)

麻酔学の進歩に伴い多種多様な薬剤が登場し、臨床で使用されてきました。とりわけ心臓麻酔では単に「麻酔」と言うだけではなく、心機能の変化、抹消血管抵抗の変化、不整脈、人工心肺による侵襲など様々な状況下での適切な対処を要求され、使用される薬剤の種類もさることながらその配分はまさに神業とも言うべき境地であると考えます。そこで使用される薬剤は、新薬はもちろん、ずっと昔から使われてきた薬剤もその効能に新たな1ページが加えられたりと、日々刻々と変化し続けています。今日はそんな「代わり行く薬剤」の知識を「UP DATE」しませんか？日頃使い慣れた「薬」にも今までとは違う顔を見つける事が出来るかもしれません。手術、周手術期を含め毎日の業務に光明がさすこと请け合いです。

座長

田中 学 (大和成和病院 薬剤部)

演者

池崎 弘之 (大和成和病院 麻酔科)

## 16:10-17:00 循環器疾患における心エコー検査の役割

心臓血管外科手術において、循環器疾患の診断を行うには超音波検査はなくてはならない存在となりました。そこで今回は、チーム医療として必要な心臓血管外科手術における超音波検査の役割を検査方法と循環器疾患の診断を交えながら、術前から術中の評価について講義していただきます。

座長

野崎 暢仁、山本 太

演者

高橋 秀一

17:10-18:00 **ビデオセッション**  
『心臓血管外科オペナースの取組み』

手術室の看護はその専門性の高さ故に様々なリスクを抱え、時として医療過誤などとして新聞紙面などの報道で取りざたされる事もあります。このようなリスクを回避するため、またより患者様に満足していただける結果を残すため各施設毎、様々な工夫に取り組んでおられることと思います。今回のセッションは、現場の看護師さんからそのような取組みをビデオ映像を交えてご紹介頂き、多くの施設が問題を共有し、皆で考えてゆこうというコンセプトで開催いたします。明日からのより手術室看護に役立つセッションになるよう皆様の活発な参加、ご発言を期待しております。

座長  
井上 裕之、柳沼 昇

演者  
加藤 祐子、阿部 洋子、加藤 佳子

10:30-12:00 **カテ中の患者に対する看護技術の提供**  
—看護独自で解決する方法—

カテ中に実施する看護技術とは何だと考えますか？1つは検査、治療を行う準備や介助等の検査管理、もう1つは患者に何かしらの援助や観察、ケア、処置を行う患者管理ではないでしょうか…今回は、①苦痛・疼痛、②不安、③寒さ、④見えない・聞こえない等の患者管理において看護独自で解決できるよう工夫して行っている実際の看護技術についてご紹介いただきます。明日からの現場において参考となり、活用できる内容だと思います。少しでも『患者満足』に近づける看護技術の提供を目指すNsの皆さん、是非参加してみませんか!!

座長  
大石 景子

Drコメンテーター  
小林 亨

演者  
増本 明美、出光 康造、原 奈緒、島袋 朋子

**Fireside Session**

18:15-19:45 **For the Radiological Technologist**

Course Director  
鯨井 秀之 (大手前病院)

**Part 1** 座長  
西岡 宏之

大動脈瘤の血管内治療について  
加藤 雅明 (森之宮病院/埼玉医科大学)

**Part 2** 座長  
田邊 智晴 (大阪府母子保健総合医療センター)

日本血管撮影・インターベンション専門  
診療放射線技師認定機構の役割  
横山 博典 (国立循環器病センター)

共催：(株)島津製作所  
協力：関西循環器研究会

**Luncheon Seminar**

12:15-13:15 **DES時代のチーム医療**

座長  
添田 信之

演者  
佐野 始也、中島 みゆき (高瀬クリニック)、JJ演者

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン (株)

13:30-15:30 **術中看護記録の現状とこれからは？**

カテ室での看護記録に関して望ましい記録、見本となるような記録とは？電子カルテ・パス・経時的経過記録など施設により様々であり、また施設諸事情もある中で種々の記録の持つ意味、意義、価値などをディスカッションして、望ましい術中記録は？また急変時の記録は？などを話し合っていきたいと思います。

座長  
石川 芳枝、小早川 香樹

演者  
野芝 志乃、保田 彰、龍野 和恵、小早川 香樹

**Room 5**

9:00-10:30 **シナリオと動画で学ぶ！カテ中の急変対応**

今年もカテ室で何かが起こります。ACS患者の対応を動画シナリオに沿って解説していきます。心臓カテーテル検査や治療は、その病態などからさまざまな急変、合併症を考え、対応することが望まれます。その対応が遅れたり、適切でないと大変重篤な結果につながる事が多いと考えられます。そこでこの時間は患者受け入れの初期対応・救急病態のフィジカルアセスメント・緊急CAG対応・PCPS・IABP挿入などの場面を再現し、一連の流れの中から必要な知識・スキルの説明をします。救急依頼や申し送りに苦労している方も、緊急カテ・急変に対して日ごろ「ドキドキで自信がない」「不安一杯！」という方にも、実際の現場で役立つちょっとしたスキルまで学べます。必見です。

座長  
三上 剛人

演者  
中村 康雄

15:30-17:30 **患者指導の現状・インフォームドコンセント**

医療の現場では、救急搬送されて状況をまだ受け入れることのできない患者様や家族、長期に療養されている入院中の患者様、これからカテーテル検査や治療を受ける患者様、心臓の手術を受ける患者様、または治療が終わり退院を迎えられた患者様がいらっしゃいます。どのような場面においても、患者様が十分納得、理解した上で治療を受ける決断ができるように、医師や私達医療従事者は十分な説明を行い、患者さんとその家族の同意を得て治療を行う義務があります。看護師と他の職種の方たちとの役割分担や協力はどのようにされていますか？

私達看護者は、このような患者様のそれぞれの状況に合わせて対応し、指導していくことが求められています。このセッションでは、日頃工夫して行っておられる患者様へのそれぞれの病院での取り組みや対応について、大いに討論していただき「インフォームド・コンセント」について皆様と一緒に考えたいと思います。

座長  
浅井 優子、中山 美恵子

演者  
小西 治美、白神 妙子、木下 博子、迎山 加奈



Saturday, January 31

Room 4

14:00-17:00 **エコーハンズオン**  
『循環器超音波検査の達人にします！』

循環器疾患で超音波が不可欠な検査であるのは、患者に対し非侵襲的でリアルタイムに疾患を評価でき、血行状態を把握できるからであります。今回のハンズ・オンは循環器科で必要な心臓超音波、頸動脈エコー、下肢動脈エコー、腎動脈エコーと心カテでアプローチになる上腕動脈エコーを交えて行っていきます。明日から臨床の場に役立てるよう指導します。循環器超音波検査に興味のあるメディカル、コメディカルの多数の参加をおまちしております。

司会

納口 英次

トレーナー

桜山 千恵子、竹本 和司、永井 美枝子、藤田 光広

Room 5

9:10-10:00 **心臓血管外科ビデオレクチャー1**

疾患により様々な術式がある心臓血管外科手術では、同じ術式であっても実際には施設により特徴があります。今回の心臓血管外科ビデオレクチャーでは、北海道大野病院と三菱京都病院の心臓血管外科の先生をお招きし、各施設の手術映像を独自に編集して頂いた映像を基に、ビデオレクチャーして頂く内容としました。それぞれの施設で積極的に活躍中である先生方の臨場感あるビデオレクチャーですので、チーム医療を支えるコメディカルの皆さんには、より心臓血管外科手術がわかりやすく理解でき、今後の業務に活かせることのできる内容だと考えております。

座長

加納 寛也、篠原 智誉

演者

光島 隆二（北海道大野病院 心臓血管外科）

10:10-11:00 **心臓血管外科ビデオレクチャー2**  
『OPCAB, AVR, 胸腹部瘤』

座長

山本 晃市、吉田 秀人

演者

長澤 淳（三菱京都病院 心臓血管外科）

11:10-12:10 **埋込み型人工心臓開発の歴史と現状**  
—海外での動向も含めて—

重症心不全の究極的治療として心臓移植がある。日本では1997年に「臓器移植法」が施行されたが、ドナー不足から定着するには至っていない。心臓移植数は2008年10月までの11年間で60人に過ぎず、移植大国といわれるアメリカであっても、年間2万~6万人の重症心不全患者に対して、心臓移植数は2,200例と圧倒的に少ないのが現状である。このような背景から、心臓の機能を機械的に代行、または補助する人工心臓の開発が進められてきた。人工心臓の開発の歴史は、1935年まで遡る。数々の実験を経て、1969年に初めてヒトに使用され、それから30年以上を経て現在に至る。

座長

黒光 弘幸

演者

本間 紗帆（テルモ（株））

**Luncheon Seminar**

12:45-13:45 **OCT**

座長

船山 大（自治医科大学附属さいたま医療センター）

コメディカルからドクターへお願い

添田 信之

ドクターからコメディカルへお願い

太田 吉実（済生会栗橋病院）

共催：（株）グッドマン

13:45-14:30 **招聘講演（韓国）**



座長

平田 和也

Pre and post procedural care of PCI

Jeong Min Lee

Very late stent thrombosis 2 years after stent fracture of sirolimus-eluting stent

Seung Cheol Park

14:30-17:00 **コメディカルライブデモンストレーション LIVE**

毎年恒例になりましたコメディカルライブデモンストレーションです。様々な職種の方に参加していただき、豊橋ハートセンターのカテ室をむすんで、医師にも細かく解説していただきながらいつでも質問できる環境でコメディカルライブデモンストレーションを進めていきたいと思います。

14:30 **コメディカルライブデモンストレーション 第一部**

座長

大石 景子、添田 信之

Drコメンテーター

佐藤 匡也

コメンテーター

太田 悦雄、佐藤 久弥

16:00 **コメディカルライブデモンストレーション 第二部**

座長

小早川 香樹、平田 和也

Drコメンテーター

小山 豊

コメンテーター

清水 速人、鯉井 秀之